



WORLD FOOD PRIZE INVITATION TO NOMINATE

世界食糧賞（World Food Prize）のノミネート

世界食糧賞（World Food Prize）は、世界食糧の質、量、および入手可能性を改善することによって人類開発の進歩に貢献した、個人の功績を称える最大な国際的アワードです。

賞金 25 万ドルの世界食糧賞は、米国アイオワ州デモイン（Des Moines）で10月中旬に開催される世界食料デー（World Food Day）前後の受賞者表彰式で国際シンポジウム「ボーローグ・ダイアログ（Borlaug Dialogue）」と共同で正式授与されます。

食品の生産と流通を強化し、食品の入手可能性と最も必要としている人々へのアクセス向上に関連して、分野を問わず並外れた功績を遂げた個人または複数の個人の推薦が募られます。学術機関または研究機関、民間あるいは公的機関、企業法人、もしくは政府機関は、5月1日まで世界食糧賞に推薦を提出することができます。

世界食糧賞は、世界食糧賞財団（World Food Prize Foundation）が単独で実施します。こうした推薦および選考プロセスのあらゆる側面に関するお問い合わせは、以下にお送りください：

Ellen Franzenburg

Director of Awards & Lectures
World Food Prize Foundation
100 Locust Street
Des Moines, Iowa 50309 USA
+1 515-245-3793（事務所）
efranzenburg@worldfoodprize.org

ノミネート基準

世界食糧賞（World Food Prize）は、すべての食料システム領域における創造的な介入を通じて、食料の量、質、入手可能性、または食料へのアクセスを実証可能的に向上させ、人類発達の促進に貢献した、非常に有意義な個人の功績に対して授与されます。



WORLD FOOD PRIZE INVITATION TO NOMINATE

対象の功績分野には以下が含まれますが、それらに限定されません：植物および動物科学、食品科学と技術、栄養、農村開発、マーケティング、食品加工、包装と保管、水と環境、天然資源の保全、物理的なインフラストラクチャ、輸送と流通、特殊または異例の給餌や給食プログラム、社会組織と貧困の撲滅、経済学と金融、政策の分析と実施、消費者援護。

- この非常に有意義な功績は、多くの人々の食料の量、質、入手可能性、または食料へのアクセスの明白な向上を実現したことを実証する必要があります。
- この功績のインパクトは測定可能であるか、または貧困、飢餓や苦難の削減という観点から実証されている、あるいは健康、栄養、生活の質と幸福が改善されていることが明白であることが必要です。
- この食料安全保障の向上は、候補者の特定の行動と活動の直接の結果としてもたらされたことを明確に示す必要があります。すなわち、この特定の功績がなければ変化は起こらなかったというようなものです。
- 候補者には、世界食糧賞の授賞式に出席するのに十分に健康な状態であることが求められます。候補者には、授賞式の際に受諾のスピーチを行い、特定のメディアイベントおよび世界食糧賞グローバルユースインスティテュート（World Food Prize Global Youth Institute）に参加することに同意していただきます。
- この賞は1人に贈られます。追加の人（または複数の人）が不可欠な形で協力したような例外的な状況においては、複数の人がノミネートに含まれる場合があります。ただし、各個人が不可欠な形で貢献したこと、および各個人の貢献がなければ達成が不可能であったことを最終的に証明する必要があります。世界食糧賞選考委員会（World Food Prize Selection Committee）は、共同推薦がこれらの基準を満たしているかどうかを判断し、この基準を満たしていない場合は、検討対象者の数を制限します。

推薦書類

学術機関または研究機関、民間あるいは公的機関、企業法人、もしくは政府機関は世界食糧賞に推薦を提出することができます。そのような組織は、自らが適切と考えるだけの数の推薦を提出することができます。すべての推薦は機密であり、推薦者と推薦組織の身元は厳重に秘密にされます。個人が推薦を行うことはできますが、最終的に学術機関、民間または公的機関、



WORLD FOOD PRIZE INVITATION TO NOMINATE

あるいは政府機関によって承認され、提出されることが必要です。自己推薦は受け付けません。

推薦を提出するには、[このオンラインフォーム](#)にアクセスしてください。推薦の提出期日は5月1日です。

以下のリストは必要となる情報の詳細です。

- 推薦者情報：推薦を提出する人の名前、推薦組織の名称、郵送先住所、電子メールアドレス、および電話番号。推薦は、情報の精度を証明する、指名組織の上級職者によって承認されなければなりません。
- 候補者情報：候補者の名前、現在の役職、住所、電子メールアドレス、電話番号、生年月日と国、および市民権や国籍。
- 経歴：候補者が就いてきた職位、学歴、専門職としての所属、榮譽、賞の詳細を記した履歴書。
- 写真：候補者の写真。
- 概略：150字以内で、候補者が世界食糧賞（World Food Prize）の受賞に値する理由を記してください。
- 成果や業績に関するステートメント：2ページ以内で、候補者の具体的な功績を説明してください。候補者は、食品の質、量、入手可能性、またはアクセスを大幅に向上させた、測定可能で持続可能な1つの特定の功績についてノミネートされるべきです。
- インパクトのステートメント：2ページ以内で、健康、栄養、生活の質の向上、または貧困、飢餓、栄養失調のレベルの低下という観点から、候補者の功績が及ぼす影響について説明してください。ステートメントは以下について明確に要約する必要があります：
 - 影響を及ぼした人々の数。
 - 影響の地理的範囲。
 - 影響を及ぼした人々の福祉や幸福に対する経時的な効果。



WORLD FOOD PRIZE INVITATION TO NOMINATE

- 最も魅力的な推薦は、候補者の功績の直接の結果として生じた、1つ以上の変化を定量的に示したものです。
- 推薦の支持：指名を支持する、署名および日付が付された書簡を、候補者の取り組みに精通しているものの、推薦組織に直接関係していない、少なくとも2人の個人から提供していただく必要があります。推薦を支持する書簡は、理想的には、候補者の功績および影響を及ぼす人々に対するインパクトに関する追加情報を明示する必要があります。
- 補足文書：推薦を裏付ける文書を提供する必要があります。これらには以下が含まれる場合があります：候補者の功績とインパクトを説明するニュースやジャーナル論文、かかる成果や業績に直接関係する、候補者による、または関連する発表物や出版物。各文書のデジタルコピーのみを送信してください。

候補者が世界食糧賞受賞者（World Food Prize Laureate）に輝いた場合、推薦に含まれる情報と補足文書が、受賞者に関するプレス資料の作成に使用される場合があります。

すべての文書類は英語で提出するか、または、Microsoft Word や PDF 形式 (.doc、.docx、.pdf) で英語に翻訳して提出する必要があります。

資格期間：

候補者は、提出された年から3年間にわたって検討対象となります。推薦者には、この期間中に（必要に応じ）最新情報の提供が求められます。この3年間の期間後、候補者が引き続き検討されるためには、新規に推薦が提出されることが必要です。選考委員会（Selection Committee）は、さらに検討する価値があるとみなされる候補者の資格期間の延長を決定する場合があります。

推薦および選考手順

検討されるためには、推薦とすべての支持や補足文書が、検討される年の5月1日までに提出される必要があります。不完全な推薦は検討対象外となります。



WORLD FOOD PRIZE INVITATION TO NOMINATE

世界食糧賞事務局（World Food Prize Secretariat）は、すべての推薦が適切かつ完全であるかどうかを精査した上で選考委員会に回付することで、選考委員会を支援します。

次に、選考委員会は推薦を審査し、賞の基準に基づいて、受賞に最もふさわしいと考える候補者と補欠者を推奨します。推奨は、財団の会長を通じ、財団の理事会会長および諮問委員会に回付され、最終承認が求められます。

選考委員会は、植物科学、農業生産、農業政策、栄養、食品加工、食品流通、水、環境のさまざまな側面に精通している著名な個人から成るパネルで構成されています。

選考委員会のメンバーは、議長のゲビサ・エジェタ（Gebisa Ejeta）博士を除き匿名性が保たれています。委員会の議事録および委員の意見は公表されません。

財団の会長は、選考委員会の職権上の投票権のない顧問を務めますが、受賞者の選出に関する審議に参加したり、影響を及ぼしたりすることはありません。

受賞者を選ぶ際に選考委員会が検討する要素

選考委員会は、候補者の功績による影響を受けた人々の数と、彼らが経験した変化の程度について、検討中のさまざまな個々の功績の相対的重要性を評価する際の重要な要素として考慮します。

問題の複雑性、および成功を達成するのに伴う困難さの程度もかなり重視されて評価されます。同様に、こうした変化または進歩を達成するにあたっての、候補者の創意工夫と決断力のレベルが考慮されます。

選考委員会は、個別に取り組む2人以上の個人が同時に受賞に値する功績を達成したと判断する場合、複数の受賞者による賞の共有を推奨する場合があります。

例外的な状況において、選考委員会は、同年に2人以上の個人を次の理由で表彰することを決定する場合があります：共通の専門分野での各自の個々の功績、共通の国や地理的領域、また



WORLD FOOD PRIZE INVITATION TO NOMINATE

は共通の動機においてきわめて建設的な影響や効果を及ぼすことに貢献した、さまざまな専門分野での取り組み。

フードシステムのすべての要素が、賞の授与において認識されることが意図されています。推薦の利点を評価する際、受賞者の選択により、フードシステムのすべてのセグメント間でバランスが取れているよう考慮される場合があります。

賞は、世界のあらゆる地域で取り組む個人の功績を称えるものであり、世界の食品および栄養安全保障コミュニティの多様性を表します。賞は、性別、年齢、人種、民族に限らず、さまざまな地理的領域の個人を正当な評価および認証することを目的としています。

選考委員会は、とりわけ、紛争の平和的解決を促すようにして飢えに苦しむ人々に食料を提供する目的で政治的境界の枠を越えて取り組む個人の推薦を歓迎します。これは、ノーベル平和賞を受賞したボーローグ（Borlaug）博士の緑の革命を広める功績を実践することになります。